

学生インターンの声

～林リエ議員のもとでの2ヶ月間～

大学1回生H君

私は約2ヶ月間、林リエ議員のもとでインターン活動をさせていただきました。大学で議員インターン制度の案内があり、「**地方自治について、まったく知らない世界を見てみたい**」と思い参加を決めました。学校や私生活との調整で活動に十分参加できなかったのは心残りですが、貴重な学びの機会となりました。

活動の中では、木曜日の朝の駅での挨拶運動に参加したほか、議会運営委員会や本会議の一般質問の傍聴を行いました。中でも特に印象に残っているのは、一般質問です。傍聴席から見た議場では、議員や市側の声が小さく、何を話しているのか聞き取りにくい場面がありました。一般質問では、各議員が60分の持ち時間の中で、さまざまなテーマについて市に対して問いかけを行っていました。たとえば、下水道、熱中症対策、防災、害虫対策、医療、アリーナ整備など、幅広い分野が取り上げられていました。しかし市側の回答は、「必ず実現する」と明言されるものはごく一部で、多くは曖昧な返答に感じました。また、**一括質問で質問されるよりも、分割質問の方が傍聴者には分かりやすい**と感じましたが、**分割質問を選ぶ議員も少なく**感じました。長岡京市では「一問一答形式」に切り替えられているそうで、向日市でも導入できれば、**市民も理解しやすい開かれた議会**になるのではと感じました。また、似たような質問が複数の議員から出ていることも気になりました。事前に議員間である程度調整しても良いのではないかと、傍聴していて思いました。

議会運営委員会では、「高校生が初めて提出した請願」に関する議論が印象的でした。請願内容は、「学校があるので、16時以降に趣旨説明をさせてほしい」というものですが、それに対して「できない」と答える議員が少なくありませんでした。「本当にそんなに難しいことなのか」と疑問に思いました。**市民の代表として活動する議員であれば、少しくらい市民の声に柔軟に応じる姿勢も必要ではないでしょうか**、昔ながらのルールや前例主義を大切にしつつも、時代や状況に応じて変化できる議会であってほしいと強く思いました。

このインターン活動を通じて、**あらためて「**選挙の重要性**」や「**政治・行政への関心の大切さ**」**を実感しました。

受け入れてくださった林リエ議員をはじめ、会派「明日の向日」代表の杉谷議員、議会事務局の皆様、そして関わってくださったすべての方々に心から感謝しています。

最後に、向日市民の皆さんにお伝えしたいのは「**ぜひ一度、議会を傍聴してみてください**」。**市政の実態を知る、貴重な一歩**になるはずです。



～インターン活動を終えて～

大学1回生N君

この夏、私は向日市議会議員・林リエ議員のもとで2か月間のインターン活動を行いました。参加のきっかけは、小学校時代の友人の誘いでした。**普段はなかなか触れることのない市政の現場を間近で学べる貴重な機会**になると思い、挑戦を決めました。活動の中では、駅前でのニュースレター配布や、市民のご家庭を訪問して直接お話を伺うなど、議員活動の一端を体験しました。向日市の未来について市民の方々がどのように考えているのかを聞き取ることは、とても大きな学びでした。特に印象に残っているのは、洛西口駅前で林議員と並んでマイクを握り、自分の思いを語った経験です。**原稿なしで人前に立つことは初めてで大変緊張しましたが、言葉に力を込めることで「政治は暮らしに直結している」という実感を得ることができました。**

さらに、京都府立海洋高等学校で実施された京都府主催大規模防災訓練に参加したことも忘れられません。地震や津波を想定した訓練に加わる中で、防災の重要性を肌で感じ、市民が主体となる訓練を向日市でも広げていく必要があると強く思いました。市民が参加し、考え、行動することが地域防災力を高めることにつながると確信しました。また、市議会の傍聴を通じて、議論の現場を体験できたことも大きな経験でした。特に高校生による請願をめぐる議論に立ち会った際、**若い世代の声が市政に届けられる意義と、それを受け止める議会の責任**を強く感じました。

そんな中で最も衝撃を受けたのは、インターン期間中の本会議最終日に、林議員に対する「**問責決議案**」が提出されたことです。その内容には事実と反する記述が含まれていました。議論の中で杉谷議員より矛盾が次々と指摘され、提案者の議員は苦しい言い訳を繰り返すだけでした。私はその様子を目の当たりにし、「**これが政治の現場か**」と驚くと同時に、真実に基づかない攻撃で相手を貶める姿勢に失望しました。

しかし、そのような状況でも林議員は冷静に対応し、向日市の未来を見据えて前向きに行動し続けていました。その姿勢は本当に素晴らしく、**政治家にとって大切なのは権力争いではなく「市民のために働く信念」**だと強く学びました。そして、林議員を支える杉谷議員の存在もまた心強く、お二人の姿から本物のリーダーシップを感じました。

今回のインターンを通して私は、「**選挙や議会は自分たちの暮らしと直結していること**」「**政治に関心を持つことが地域の未来を良くする第一歩であること**」を実感しました。

活動を支えてくださった林議員、杉谷議員、そして議会事務局の皆様々に心から感謝しています。

最後に、**私自身が体験したように、市政に触れる方法のひとつとして議会傍聴や議員インターンをおすすめします**。議場で交わ

されるやりとりを直接見ることで、**政治がぐっと身近なもの**になるはずです。ぜひ皆さんも一度、足を運んでみてください。



向日市民の皆さんへ

あす 明日の向日
変わる、変える

完全無所属 向日市議会議員

林リエ

ニュースレター

2025年秋号 No.6

今回のトピック

- 今後のイベント情報 活動支援のお願い
- 9月議会報告 一般質問
- 大学生インターン感想
- 向日市初！高校生請願
- 林リエの問責決議が可決

イベント情報

会派『明日の向日』第3回市政報告会 & 懇親会

2025 / 10 / 25 (土)

	報告会	懇親会
時 間	15:00～17:00	17:30～
会 場	永守重信市民会館 第3会議室	市役所5階レストラン『HANAむこう』
参加費	無料	コース料理2,500円（飲物代は各自別途お支払い）
申し込み	不要	事前申し込み必要（定員になり次第受付終了） ※受付〆切 10/22（水）

懇親会申込は
公式LINEより
お願いします！



『林リエと向日市の未来を創る会』 年に一度の**限定**交流イベント

2025 / 12 / 22 (月)

場 所	大阪市阿倍野防災センター『あべのタスカル』
時 間	13:00～ 90分コースに参加
参加者	林リエと向日市の未来を創る会会員
参加費	あべのタスカル視察無料（交通費実費）

皆さんへ

林リエさんは、政党や特定の組織に頼らず、この2年市民のために真っ直ぐに働いています。その姿勢は林リエさんを議会へ押し上げ本当に良かったと私自身感じています。しかし強い後ろ盾がないため、支えるのは私たち市民しかいません。

まちの未来を創り、こども達により良い未来をバトンするためには、市民一人ひとりが立ち上がり、声を合わせることも大切です。林リエさんを支えることは、私たちのまちを創ることに繋がります。

このニュースレターも皆さんからのご寄付で作成しています。是非会員になり私たちと一緒に林リエさんを支えてください！市民の手で向日市の未来を切り拓いていきましょう！

林リエと向日市の未来を創る会
会長 加原ゆり

応援は
コチラから



2年間のご報告と御礼

議員となり2年が経ちました。市民の皆さまに支えていただき、心より感謝申し上げます。
残り2年も住民福祉の増進に寄与し、選挙の際に掲げた公約実現に全力で取り組んでまいります。

活動の重点テーマ 「子育て・環境・防災」を柱に活動しています。

防災への取り組み 南海トラフ地震は30年以内に80%の確率で発生とされ、京都でも震度6強が予測されています。
本市では一人暮らし高齢者が約3,000人。自宅避難を含め、**現実的な備えが必要**です。

地域のつながりと課題

自治会加入率は2018年65.5%から2025年には49%へ減少。
行政任せでは限界があり、市民一人ひとりの参加と支え合いが欠かせません。
防災体制の改善に取り組みながら、皆さまと共に**安全・安心のまちを築いて**いきます。ともに学び、支え合い、次世代へ安心して暮らせるまちをバトンしたい！残り2年もどうぞよろしくお願いいたします。



一般質問

今回の一般質問では、以下2つを取り上げました。

- ① 市民活動が豊かな向日市へ**
(自治会・自主防災会・市民協働センター「かけはし」など)
- ② 災害に強いまちを目指して**
(個別避難計画・福祉避難所・避難所開設・自宅避難者との連携)

一般質問動画



前進したこと



市民協働センター「かけはし」

登録団体の**ヒアリング調査やHPの改善が進展**。
今年度は『登録団体PRイベント』を
市民会館で開催予定。
市民活動を支援、応援する制度の構築に期待！

避難所のカギ管理

市の職員の7割が市外居住という現実を踏まえ、
区事務所、自治会などでも保管できる方向で
検討開始。災害時に地域で**避難所を開設できる
体制づくりが前進**しました。



福祉避難所

現在市内4カ所のみ。
不足解消に向けて**追加施設検討が進ん**でいます。

防災アプリ

来年度導入予定。避難所の検索や混雑状況確認、
自宅避難者支援への対策強化にも繋がります。
また『アプリの一元化』を提言。

今後に向けて



安田市長は以前「防災についてはできることは全てやる」と答弁されました。
大規模災害はいつ起こるか分かりません。
自治会加入率が50%を切った今こそ、自助・共助の力を高めることが重要です。
市民防災の市民と行政が協働し「災害にも強い向日市」を築くため、
しっかり取り組んでまいります。
ヒアリング、アンケート等にご協力頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。



向日市議会 新体制スタート！

任期4年の折り返しを迎え、議長など役員が改選されました。
私は残り2年、「防災」を軸に次の委員会で活動します。

- ・乙訓消防組合議会
(2市1町の代表議員からなる議会。向日市議会からは3名参加)
- ・建設環境常任委員会
(環境、安全防災課、都市計画等を担当)
- ・議会だより編集委員会(副委員長)

議会だよりを通じ、市民に
「議会を身近に感じてもらえる工夫」を
進めていきます。



向日市議会初！高校生が請願

「請願」とは、市民が誰でも議会に声を届けられる仕組みです。
今回、向日市議会ですべて高校生が請願を提出しました。
本人は「学校が終わる16時に自分の口で説明したい」と希望。
前例を作るわけにはいかないなど反対の意見も多かったのですが、
富安委員長長の判断で無事実現し、傍聴席も満員になり抽選するほどに！
結果は不採択でしたが、若い世代が議会に声を届ける
大切な一歩となりました。

高校生の請願『北陸新幹線延伸に反対』

高校生本人からの感想

今回の私の請願に関わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。
発言はとても緊張しましたが自分の考えを述べるのができ、嬉しかったです。
反対の議員の方々が何も意見を言わないのは大変残念に思います。
北陸新幹線のことをより多くの人に知ってもらい、お金がかかりすぎるこの計画を中止
にするよう働きかける必要があると思います。

そのためにはSNSなどではなく、まず身近な人に北陸新幹線のことについて知ってもらい、
考えてもらいたいと思います。
また今回の請願を通じて、みんなが政治に関心を持ち、参画することが当たり前の社会
になれば良いなと思いました。発言の機会を頂きありがとうございました。



高校生が議会に請願

賛成(会派名)

- 明日の向日
- 日本共産党議員団

反対(会派名)

- 自民クラブ
- 公明党議員団
- MUKOクラブ
- 日本維新の会無所属の会

高校生請願動画



林リエに対する不当な問責決議が可決

問責決議については、以下の資料をご確認ください。

議案内容のPDF



本会議最終日『問責決議』
のYouTube動画



賛成(会派名)

- 自民クラブ
- 公明党議員団
- MUKOクラブ
- 日本維新の会無所属の会

反対(会派名)

- 明日の向日
- 日本共産党議員団

沖縄の研修で感じたこと

8月は大学院の研修で沖縄に行きました。
折角なので『**沖縄アリーナ**』を視察。平和学習もしました。
2028年京都アリーナ開業に向けて、市民が誇れるアリーナとなるよう
に議会としてもしっかり向き合っていきたいと思います。
沖縄の平和学習も基地問題も、日本の歴史も自ら学びたいと思ったの
は政治家になったからです。本物の政治家と言われた沖縄県の政治家
瀬長亀次郎さんの資料館にて、『**政治は市民の声を代弁し、歩みを止め
ず貫く仕事**』なんだと改めて感じました。
先人たちの想いを胸に私たちは平和を守り次世代に豊かな地域社会を
バトンしていきましょう！



スタンディングしています！

毎週**木曜日 7:30～8:30**
(雨天中止)

第1木曜日：洛西口駅 第2木曜日：東向日駅
第3木曜日：向日町駅 第4木曜日：西向日駅

